

1 広域的路線の再編

平成30年度までの実施状況（計画実施路線）

◆ 計画（交通空白地の解消）

鉄道を利用して移動ができない複数の交通拠点間を結ぶ、鉄道駅や病院、学校を經由する**路線の新設**

【実施状況】

- ② 山梨交通で峡東地域と甲府・石和方面を結ぶ「塩山駅南口～酒折宮前」路線を新規運行開始（平成29年4月）
 - ・広域的路線の空白地域を解消し沿線高校生の通学等に利用
 - ・平日朝甲府方面に1便、夜塩山方面に1便運行

◆ 計画（既存広域路線の利便性向上）

通勤・通学に対応した住宅街を經由する路線の夕方・夜間の時間帯の**増便**

【実施状況】

- ③ 山梨交通で「敷島営業所～長塚～甲府駅～後屋団地～山梨大学医学部附属病院」路線を夕方時間帯1往復増便
(平成29年4月)
 - ・通勤・通学の時間帯の運行により利便性が向上

◆ 計画（既存広域路線の利便性向上）

移動の目的地となる大規模商業施設等への**起終点や経路の見直し**

【実施状況】

- ④ 山梨交通で「甲府駅～十五所～南アルプス市甲西支所線」をフォレストモール富士川まで4.5便延伸（平成29年4月）
 - ・大規模商業施設との接続により買い物客等の利便性向上

平成31年度（令和元年度）の状況（未実施路線の課題と今後の取り組み）

◆ 計画（交通空白地の解消→路線の新設）

- ① 石和温泉駅～市立甲府病院～山梨大学医学部附属病院～東花輪駅～フォレストモール富士川

【課題】

- 沿線市町や事業者の関係者の調整がつかない
(リニア開業による効果が見えず時期尚早等の意見)

【今後の取り組み】

- 関係者との調整を行い、需要予測が立つ部分からの先行運行を含め将来の運行実現を目指す

◆ 計画（既存広域路線の利便性向上→増便）

- ③ 中央病院～甲府駅～甲府市西部住宅街～西野～南アルプス市役所
- ③ 甲府駅～甲府市・昭和町住宅街～イオンモール甲府昭和～山梨大学医学部附属病院

【課題】

- 運転手不足や利用者が少ない等のため増便が困難な状況
- 増便以外の対応（起終点の変更や時刻変更）を行った場合の乗客への影響が大きい

【今後の取り組み】

- 事業者と協議し利用者の利便性向上のための方策を検討する。

2 地域内路線の再編

平成30年度までの実施状況

◆計画(広域的バス路線・鉄道との接続強化)

市町村圏域を越える広域移動の円滑化に向け**広域的バス路線**や**鉄道駅と接続する路線の新設・再編**

【実施状況】

- a 甲府市：「古関～市立甲府病院線」を南甲府駅まで延伸(平成28年10月)
- b 南アルプス市：市内バスの竜王駅、東花輪駅への延伸(平成28年10月)
- 2 甲州市：勝沼地域バスの塩山駅延伸(平成29年4月)

◆計画(移動目的地との接続強化)

観光地、大型商業施設、学校、医療・福祉施設など**移動目的地**と**接続する路線の新設・再編**

【実施状況】

- e 富士河口湖町・鳴沢村：河口湖駅～精進湖・本栖湖の新設(平成28年4月)
- d 南アルプス市：市営施設をハブとした市内バスの再編(平成28年10月)
- e 都留市：「谷村町駅～道の駅つる～リニア見学センター線」の新設(平成28年11月)
- 3 甲州市：塩山地域の観光地を巡る季節循環バスの運行(平成29年4月)
- 4 身延町：町内縦断線の経路変更、「飯富周辺～身延町役場～鯉沢営業所線」の増穂商業・フォレストモール富士川・鯉沢口駅への延伸(平成29年4月)
- 1 北杜市：大武川地区と長野県富士見町とを結ぶデマンド交通(富士見町商工会)の運行(平成29年7月)

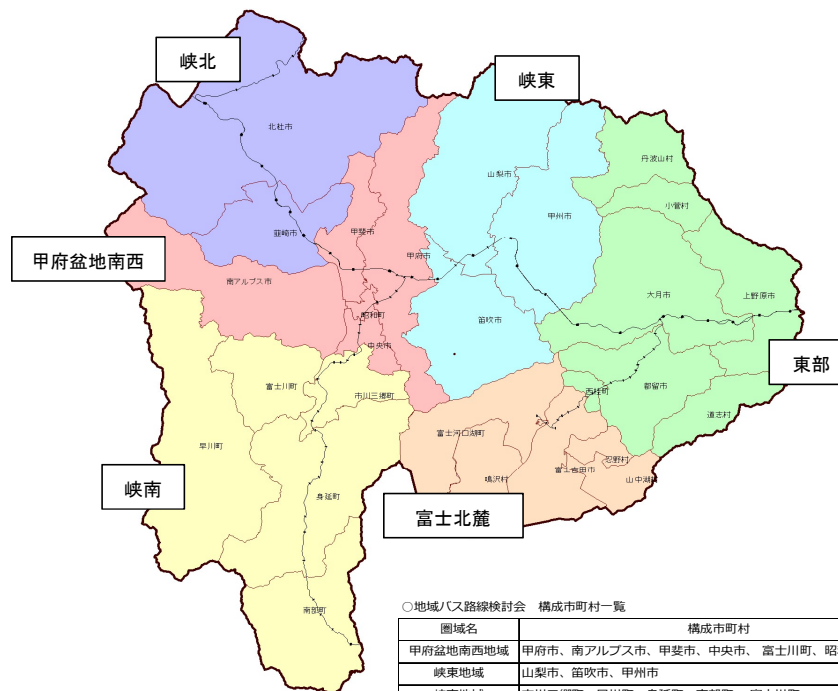
◆ 地域内交通の更なる再編の取り組みを進めるため、県内6圏域に設置した地域バス路線検討会を開催(平成25年度～)

→地域内のバス交通の利便性向上や活性化について意見交換

・構成：バス事業者、市町村、国(山梨運輸支局)、県

【平成30年度の開催状況】

- 1 甲府盆地南西(平成31年2月27日)
- 2 峡東(平成31年2月28日)
- 3 峡北(平成31年3月7日)
- 4 峡南(平成31年3月7日)
- 5 富士北麓(平成31年3月4日)
- 6 東部(平成31年2月28日)



○地域バス路線検討会 構成市町村一覧

圏域名	構成市町村
甲府盆地南西地域	甲府市、南アルプス市、甲斐市、中央市、富士川町、昭和中
峡東地域	山梨市、笛吹市、甲州市
峡南地域	市川三郷町、早川町、身延町、南都町、富士川町
峡北地域	韮崎市、北杜市
富士北麓地域	富士吉田市、道志村、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町
東部地域	都留市、大月市、上野原市、道志村、西桂町、小菅村、丹波山村

※富士川町は、「甲府盆地南西」、「峡南」の両地域に加盟
道志村は、「富士北麓」、「東部」の両地域に加盟

令和元年度の状況

◆ 令和元年6月に各市町村を個別訪問し各市町村が直面している課題や県の施策について以下の項目を意見交換

- ・住民ニーズの把握
- ・地域内路線の課題
- ・地域内路線の広域運行について
- ・地域公共交通網計画の策定について
- ・多分野連携による公共交通補完について
- ・先進交通技術の導入について
- ・貨客混載の実現について
- ・鉄道を利用した通学支援制度について
- ・運転免許自主返納について

→今後の県の取り組み

市町村間を跨ぐ移動の課題について関係者で情報を共有するとともに、他市町村の取り組み事例や考え方を紹介。これまで欠けていた視点や考え方を新たに取り入れる契機とし、更なる地域内交通の再編や地域公共交通の活性化につなげる。

主な意見交換項目	市町村における取り組みや課題
住民ニーズの把握	(取組) アンケート・乗降調査・市民ミーティングや地区懇談会での聞き取り (課題) 公共交通を利用しない人の意見の把握、少数の利用者の意見にどこまで対応するか
地域内路線の課題	(課題) 乗車率の向上とコスト削減、バス運転手・車両の確保、交通空白地への対応
地域内路線の広域運行	(取組) 峡南新設高校への乗り入れ調整（富士川町→市川三郷町） (課題) 住民ニーズに裏付けされた広域運行の検討
地域公共交通網計画の策定	(取組) 27市町村のうち4市（甲府市、北杜市、上野原市、甲州市）で策定済み (課題) 策定が進まない理由として、市町村におけるノウハウの不足や策定に要する費用が多額であり、もたらされる効果が見えにくいという意見あり
先進交通技術の導入（自動運転・MaaS等）	(課題) 差し迫った課題ではないものの将来的に必要なという認識

平成30年度の実施状況

◆計画 ①バス利用の普及・啓発

・「公共交通フェスティバル」の開催 ・時刻表の作成・配付

【主な実施状況】

- 公共交通フェスティバル（平成30年12月）
- バス通学が可能な高校ごとに時刻表を作成し、各学校に配付するとともにホームページに掲載（平成31年3月）

◆計画 ②バス利用をしやすい環境の整備

・ノンステップバスなどのバリアフリー車両の導入

【主な実施状況】

- 山梨交通、富士急山梨バスのノンステップバス減価償却費（5年間）への支援
(平成30年度・11台)

◆計画 ③バス利用への誘導

・バス交通への転換を働きかけるエコ通勤・エコ通学トライアルウィーク

【主な実施状況】

- エコ通勤・エコ通学トライアルウィークの実施（平成30年12月）



令和元年度も取り組みを継続

(参考) 市町村の取り組み状況

項目	具体的な取り組み
バス利用への取り組み	(取組) 高齢者をターゲットとして公共交通（バス）を活用したツアーを企画、ナビタイムやグーグルへのコミュニティバス等の情報掲載
免許自主返納について	(取組) 27市町村のうち14市町村で免許返納者に対する支援（IC乗車券、コミュニティバス回数券、タクシー券贈呈など） (課題) 免許返納後も安心して移動を可能とするための、公共交通の充実やそれを補完するサービスの導入